

学しゅうのすすめ方^{かた}

かならず読んでね!

子どものみなさんへ

- この本は 2年生で 学しゅうする「時^じこくと時間^{かん}」がわかるようになるために 作^{つく}られました。
- 前^{まえ}から じゅん^{ばん}番に もんだいを ときましょう。
- それぞれの「レベル」の はじめのページを よく読^よみましょう。
- もんだいをとく前に もんだい文を よく読^よみましょう。
- 1ページおわるごとに 自分^{じぶん}で 答え^{こた}合わせをしまし^あょう!
- 答え合わせをしたら 「レベル」の はじめのページにもどり
○の中に すきなマークを かきましょう。
- マークをかいたら 先生に見せましょう。



学級担任の先生・保護者の方へ

- この教材は、算数の単元「時こくと時間」の基本問題です。小学2年生の5月以降に取り組み始めるとよいでしょう。
- 問題は、前から学習のステップ順に構成しており、お子さんが自分一人で学習できるように並んでいます（お子さんに合わせて同じページを繰り返し学習したり、先のステップから開始したりするなど、適宜使い方を調整してもらっても構いません）。
- 採点は1ページごとをお願いします（つまづいた子どもさんがいたときにできるだけ早く発見し、サポートするためです）。自己採点してもらい、満点をとったら「できたよ!」と報告してもらいましょう。そして、それを最大限に褒めてあげてください。
- 2ページ連続で満点にならなかったら、問いを誤解していたり、解答方法を勘違いしていたりする可能性があります。そのままと間違い続けてしまうので、正しい方法を教えてあげてください。もう一度答えてもらい正答できたら褒めてあげてください。
- 正答率が50%以下になるようであれば、次のページには進まず、満点をとれたページに取り組んだり、個別に支援をしてあげてください。満点がとれないまま続けると学習全体への意欲が低下します。低い正答率が続く場合は、学習内容や支援方法について見直すことをお勧めします。
- 問題には「**おたすけ問題（補助問題）**」があります。「おたすけ問題」は基本問題だけでは先に進むのが難しい場合の教材です。「レベル2」で50%以上誤答した場合に使ってみてください。
- 問題には「レベル5 あと何時間？ あと何分？」の「**チャレンジ問題**」（HPに掲載）もあります。基本問題では物足りないと感じるお子さん用です。基本問題終了後に取り組むことをお勧めします。
- 「基本問題」、「おたすけ問題」、「チャレンジ問題」は全て徳島県立総合教育センターホームページからダウンロードできます（詳細は裏表紙）。